

# かかみがはら



各務原市教育委員会





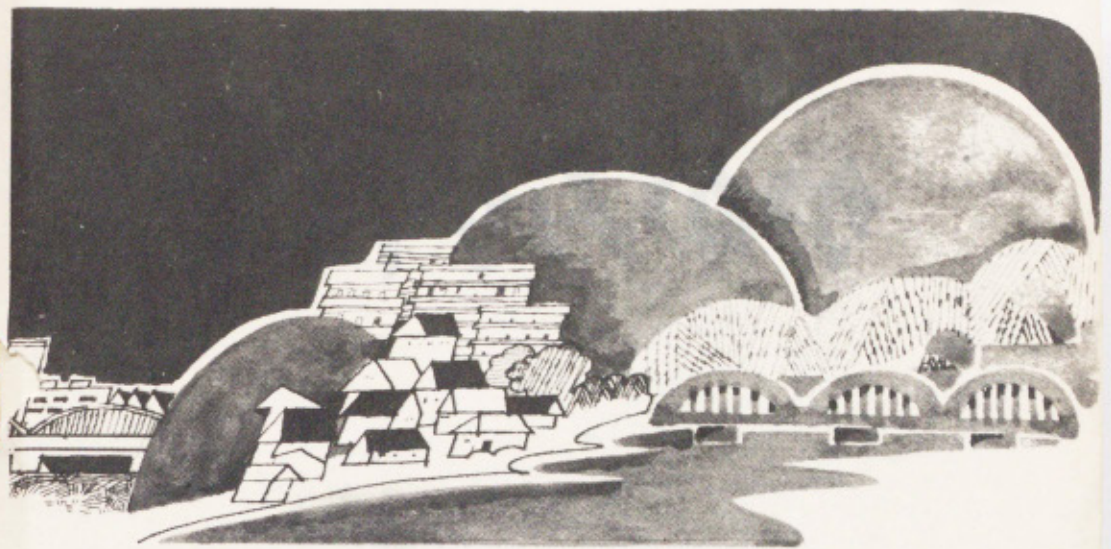
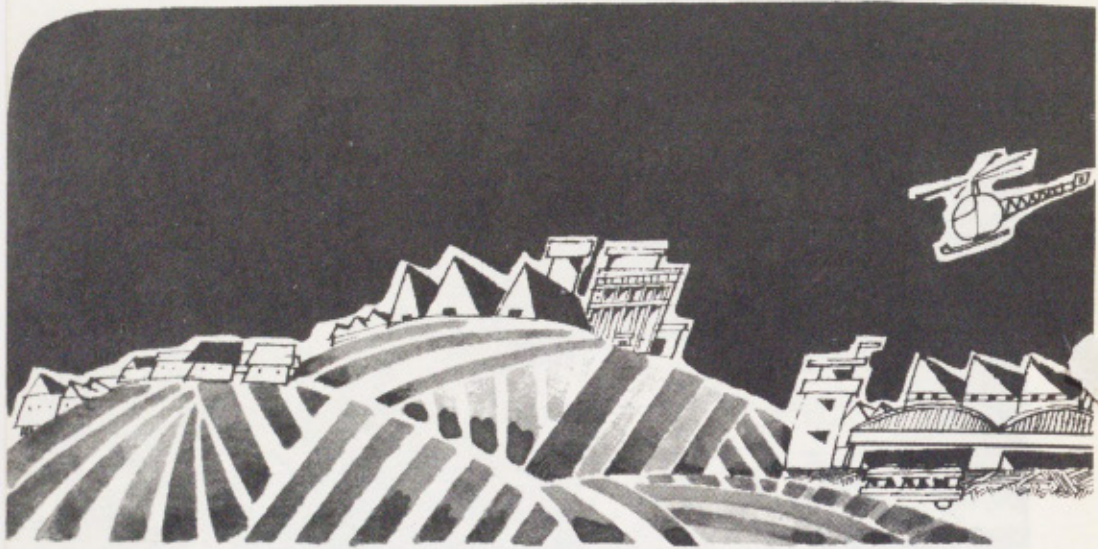
# かかみがはら



## 市章

昭和38年4月1日各務原市になったときにつくられたものです。那加、楠羽、鶴沼、蘇原の四地区が、しつかり手をむすんで各務原市をつくっていくこと。四地区が協力し合つて市が発展していくこと。こんな願いがこめられて、つくられたのです。





もくじ

各務原市立図書館蔵書

一、各務原市のようす……………4

(1) 土地のようす……………5

(2) 木曾川にそったところ……………8

(3) 各務原台地……………13

(4) 台地と山地のあいだ……………18

(5) 各務原市のまわりの市や町……………23

二、市の人たちのしごと……………26

(1) しごとしらべ……………27

(2) のう家のしごと……………34

(3) 工場のしごと……………48

(4) 店のしごととくふう……………63

三、けんこうで安全なくらし……………74

(1) ぐらしをよくするくふう……………75

四、市の人たちのぐらしと市役所のしごと……………102

(1) 学校プールをつくる……………103

(2) 市役所と市き会のはたらき……………110

五、各務原市のうつりかわり……………122

(1) 学校のうつりかわり……………123

(2) むかしのようすをつたえるもの……………128

(3) 各務原市のはってん……………132

(4) これからの各務原市……………146

四年……………

一、土地の開発と人々のぐらし……………149

(1) 各務用水……………149

(2) 羽島用水……………158

(3) 鶴沼のため池……………166

二、中山道……………172





各務原市のいちばん家の集まったところ（那加）

## 一 各務原市のようす

三年生の社会科は、わたしたちが、すんでいる各務原市のようすについて学習します。学校のまわりや、近くの町のようすについて、二年生で学習したことや、学習のしかたを、思い出しながら、まず、各務原市のだいたいのようすを知り、つぎに、くわしく、町のようすをしらべましょう。

はじめに、学校の屋上や、近くの山など、高いところから、町のようすをかんさつしましょう。つぎに、見えないところを、絵地図や本を、さんこうにして、しらべましょう。

## (1) 土地のようす

各務原市のま北にある、

高さ三百メートルほどの権現山のちよう上から、各務

原市内のようすを見ると、

まず目につくのが、白く光りながら、東から西へ流れている、大きな木曾川です。

この木曾川は、各務原市の南のはしを流れ、愛知県とのさかいになっています。

しらべかたやしらべるじゆんじよをきめましょう。

わたしたちの学校は、各務原市のどんなところにあるか、しらべましょう。

☆各務原市の土地のようすは、山や川の流れと、どんなかんけいがあるでしょう。

☆国道二十一号線と、ほかの道とくらべると、どんなちがいがあるでしょう。

☆道、鉄道は、まわりの町のようすと、どんなつながりがあるでしょう。





権現山の上から

各務原市の東の方、山あいにあるぶらくや、  
ため池が見えます。

各務原市は、土地のようすによって、南の「木曾川にそつたところ」、北がわの「山地にそつたところ」、なかほどの「各務原台地」の三つに、大きくわけられます。

ろより、土地が高くなっており、「各務原台地」とよばれています。

この台地のまん中を、国道二十一号線、国鉄高山本線・名鉄各務原線が、ならんで東西に通っており、この鉄道や道をはさんで、大きな工場や、高いたて物がたくさん集まっています。



各務原市の西の方

山がなく、平地が広がっている。長く白く光る木曾川、  
ぎっしり集まった家。

市の東がわから、北がわにかけては、二百メートルから、三百メートルの高さの、ゆるやかな山地が、つらなっています。

この山地の南がわのふもとにそつて、境川が、水田の中をまがりくねつて、東から西へ流れています。

市の西の方は、広い平地がつづいており、境川からわかれた新境川が、ま南に流れて木曾川にそいでいます。

市のなかほどの平地は、南の木曾川にそつたところや、北がわの山地にそつたところ



(2) 木曾川にそつたところ

南がわを木曾川に、北がわを各務原台地にはさまれた、東西におよそ十一キロメートル、南北には広いところでも一キロメートルほどのほそ長い平地が、木曾川にそつたところです。

東から西に向かつて流れる木曾川は、長野県や岐阜県の山地から流れ出る水を集めて、濃尾平野を通り、伊勢わんにそそぎ



川はばのせまい宝積寺のちかくの木曾川

木曾川の流  
れにつけて  
道のようす  
をうらま  
しう。

ます。

このあたりは、大むかし、木曾川にていぼうがなく、水が、自由に流れていたころ、かわらだつたところ  
です。そのち、水の流れがかわつたり、ていぼうができたりして、大水の心配がなくなつて、人々が住みつきました。このあたりでは、地面



川はばの広い松本のちかくの木曾川

を少し深くほると、じゃりや石ばかり出てきます。近ごろでは、かわらのじゃりが、とれなくなつたので、田や畑をほりおこして、石やじゃりをとるさいせき工場が、いくつも見られます。





畑の中からじゃりをとる さいせき工場（前渡）

土地の高さは、北がわの台地より、ひくくな  
つており、台地とのさかいは、急なしゃ面か、  
がけのようになっています。ここでは、土地の  
多くが、水田になっていますが、いねをつくる  
ための水は、鶉沼の南町で、木曾川から水をと  
っている羽島用水にたよっています。山すそや  
おかは、畑や林としてりようされています。

このあたりの交通は、鶉沼の南町、古市場を  
のぞいては、東西に走る県道が、おもなものになっており、岐  
阜と大伊木をむすぶバスが通っています。この道にそって、東  
から、鶉沼の南町、農業のさかんな小伊木・大伊木、おりもの

のさかんな前渡・下切・松本・上中屋・下中屋、水田の多い小  
佐野・大野などのぶらくがならんでいます。

川ぞいの南町は、木曾川が、山地から広い平野に出る、出口  
にできた町です。犬山橋で犬山市と  
も強くむすびついています。このあ  
たりから上流は、北がわの山が、木  
曾川のすぐ近くまでせまっているの  
で、平地がせまく、高山本線と国道  
二十一号線がすぐ近くをならんで通  
っています。また、「古市場」「鶉沼宿」  
などの地名もあり、古くからひらけ

犬山橋は、木  
曾川が、どう  
なっているど  
ころにかけら  
れているか、  
地図でしらべ  
てみましょう。



けしきのよいところをりようした旅館（南町）





住む家とつながったおりもの工場（前渡西町）

たどころです。

前渡東町にある愛岐大橋は、昭和四十四年にかけられました。このあたりの人は、それまでは、「わたし船」によって、愛知県の草井といききしていました。

川を少し西へくぐると、川はばは、急に広くなります。ふだん水の流れないところもたくさんあり、その広いかわらをりようして、畑にしています。「勤労青少年運動場」も、このかわらをりようしたもので、野球場・サッカー場・キャンプ場などがいくつもつくられ、たくさんの人々が、りようしています。

### (3) 各務原台地

近くに、台地のさかいがないか、土地の高さや土の色などもよく見てしらべましょう。

新鵜沼駅を発車して、新岐阜へ向かう電車が、鵜沼宿駅を通りすぎてしばらくすると、急な坂を登り始めます。ここが、各務原台地の東のはしです。

ここが台地とよばれるのは、まわりの土地より高く、その上がたいらになつていからです。この台地は、西に行くほど、少しずつひくくなつていきます。台地のはし



各務原台地のはし、しゃ面が畑や竹やぶになっている。(三井)





にぎやかな那加の町

道・鉄道に気をつけて、家のたっているようすを、しばらくしてみましょう。

軒・新加納などの、かぎられたところにしか、住む人がなく、「かかみ野」とよばれる、まつ林でした。しかし、飛行場ができた、鉄道がしかれたりして、しだいに人が、住むようになり、また、この広い土地を利用して、大きな工場や、住

たぐが、たくさんたてられるようになり、今では、各務原市で、いちばん多く工場や住たくが集まっているところになっています。

台地のまん中を高山本線・各務原線、むかし中山道とよばれた国道二十一号線が東西にあらんとおり、この鉄道や道にそって、東から、羽場・各務原・二十軒・三柿野・六軒・那加・新加納な

台地に水田がないのは、なぜでしょうか、考えてみましょう。

は、急な坂やがけになっており、申子・雄飛ヶ丘の西北・那加第二小学校の南・新加納の西・三井坂・鶉沼の三軒屋・大伊木などで見ることができません。また、新境川のようにすからも、台地の高さを知ることができません。この台地の表面は、「黒ぼく」とよばれる黒い色をした土でおおわれ、ほとんどが、畑になっています。

台地は、水の便が悪いために、むかしは、羽場・二十軒・六



深くほりさげられた 新境川。(岐阜大学の西)



工場は、どんなところに、集まっているか、しらべましょう。



朝の三柿野駅にぎざつする

どの町が、ならんでいます。羽場ふきんの国道は、むかしのままの道はばのために、せまくてとてもこんざつするので、今、南の方に、バイパスをつくつています。

三柿野は、川崎重工岐阜工場を中心に、飛行機や自動車をつくる工場が、たくさん集まっています。

那加の町は、市役所・岐阜大学・消ぼうしよ・けいさつしよ・ゆうびん局・電ほう電話局・東海中病院などが集まり、人



近の三柿野駅に集まった大きな工場

自動車とかんけいのある店は、どんなところにあるか、しらべましょう。

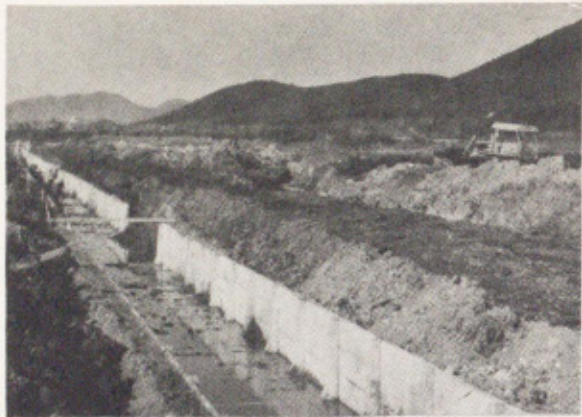
の行き来もはげしく、大きな店もたちならんで、市の中心となつています。また、台地の南の方には、飛行場があり、自えいたいや川崎重工の飛行機がとびたつています。

近ごろでは、町と町のあいだの畑の中にも、アパート・住たく・工場などが、どんどんたてられています。また、国道ぞいには、ガソリンスタンド・自動車の店・きつき店などもたくさんできはじめました。台地の南西のすぐ下に、たくさんさんの工場が集まっている、「岐阜県金属工業団地」があります。



店の自動車の国道ぞい





こう地せいのようす

ため池は、ど  
んなどころに  
あるか、しら  
べてみましょ  
う。

東を通り、羽島市はしま小熊おこまで、長良川に流れこみます。新境川は、台地をほとんどま南に横ぎり、木曾川にはいります。川にそった、ひくい土地や、谷間には、水田がつくられ、お

かや、山のすそは、畑や林や竹やぶになってい  
ます。

山のなかほどやふもとには、田うえなどたく  
さん水のいるときのために、小さなため池が、  
いくつもつくってあります。また、蘇原そはらの大島  
より西の方では、長良川の水をひいた、各務用  
水かかみもつくられています。近かころでは、こう地せ  
いりがおこなわれ、田や畑のしごとをしやすく

境川の流れ方  
を、新境川の  
流れ方とくら  
べてみましょ  
う。

#### (4) 台地と山地のあいだ

境川や、そこに流れこむ小さな  
川は、東や北の山地から流れてき  
ます。この川の上流には、たくさ  
んの小さな池があります。山は、  
高いところでも、三百メートルぐ  
らいです。この山地の高いところ  
が、関市せきとのさかいになっています。

いくつかの小さな川を集めながら、西に向かつて流れる境川  
は、蘇原そはらの大島おおしまで、新境川とわけられます。境川は、岐阜市の



境川のみなもとなる山地



台地の道とど  
んなどころが  
ちがうか、地  
図でしらべて  
みましょう。

したり、水路すいろうをつけかえて、水をうまくり用できるように、く  
ふうしたりしています。

東西に走る県道には、岐阜市と美濃みの加茂かもし市をむすぶバスが通  
り、たいせつな役目をしています。

この道にそって、東から、各務かかみ・  
坂井さかい・古市場・大島・西市場など  
のぶらくが、ならんでいます。町  
の名や、まがりくねった道のような  
すなどから、このあたりは、古く  
から、人が住んでいたことがわか  
ります。また、北の山のあいだを



畑や林にかこまれた古いぶらく

古いぶらくは  
どんなどころ  
にあるか、し  
らべてみまし  
ょう。

通って、関市とむすびつく道や、  
山すそにそって、須衛すゑ・持田もちだ・飛  
鳥かなどのぶらくがあります。

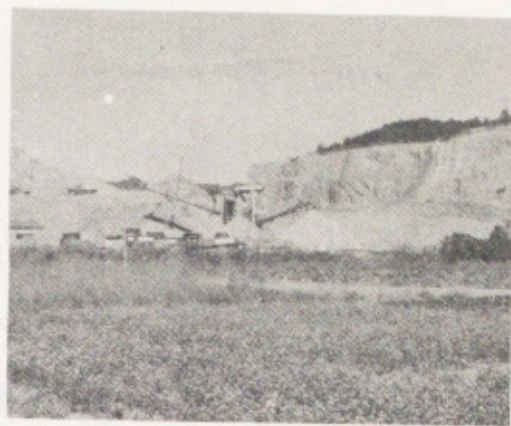
農業が中心だったこのあたりも、  
近ごろでは、田や畑がつぶされた  
り、うめたてられたりして、新し  
い住たくや工場が、どんどんたて  
られています。とくに、北の方の



新しい家のならんでいる団地

山のふもとの、日あたりのよい、南むきのゆるやかなしや面を  
り用して、鶉沼うなま台地だいち・大和たいわ団地・丸子まるこ団地・川崎かわさき団地・桐野きりのの  
団地など、大きな住たく団地がつくられ、また、坂井には、「岐





山をけずりとってさい石をつくる (坂井)

岐阜県立各務原高等学校<sup>こうこう</sup>もつくられています。山地のけしきのよいのをり用して、ゴルフ場・ハイキングコースなどもつくられています。「こい」のたくさんいるおがせ池<sup>いけ</sup>は、水田に使う水をためる「ため池」の一つですが、けしきのよいことと、池の神さまにおまいりする人で、いつもにぎわっています。しかし、このあたり

の山は、田や畑をうめたてたり、道をつくる土をとるために、けずりとられているところが、多く目につきます。この土は、名古屋<sup>なごや</sup>市や、そのほか遠いところまでダンプカーではこばれていきます。

#### (5) 各務原市のまわりの市や町

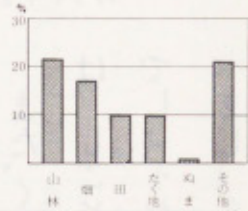
近くの市や町  
と、どんな  
のりものを使  
って、いきま  
しているか、  
しらべてみま  
しょう。

各務原市のまわりには、西に、県庁<sup>けんちやう</sup>があり、岐阜県でいちばん人口<sup>じんこう</sup>の多い岐阜市があります。岐阜市の学校や会社、工場へかよう人、買い物や遊びに行く人がたくさんいます。また、岐阜市から、各務原市の工場や会社へ働きに来る人も多く、とても強く、むすびついています。そのほか、西には、羽島<sup>はしま</sup>郡笠松<sup>かさまつ</sup>町・岐南<sup>ぎなん</sup>町があります。北には、山をへだてて、はもの生産でゆうめいな関市<sup>せき</sup>があります。新しい道もつくられつつあり、これから、いつそうむすびつきが強くなるといわれています。東には、加茂<sup>かも</sup>郡坂祝<sup>さかほね</sup>町があり、南は、木曾川をはさんで、羽島<sup>はしま</sup>

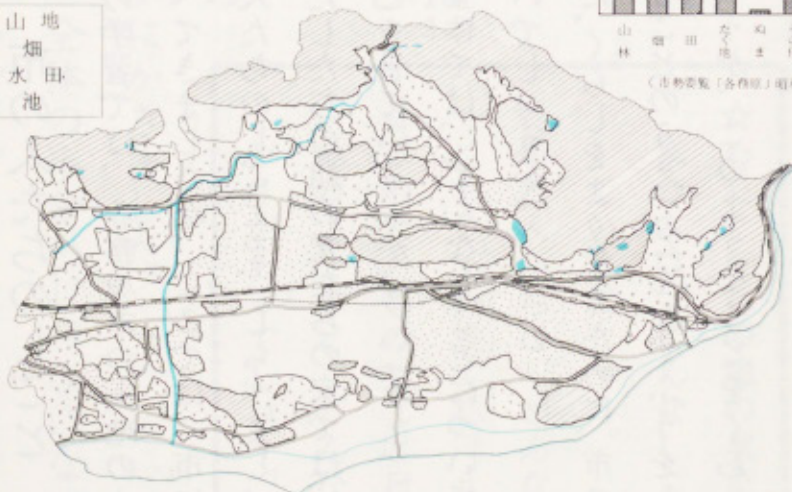
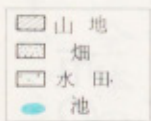




各務原市の大きなたてもの

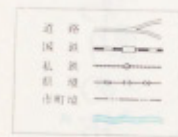


(土地利用「各務原」昭和45年)



各務原市の水田と畑のようす

郡川島町・愛知  
 県江南市・扶桑  
 町・犬山市と、  
 となりあつてい  
 ます。  
 各務原市は、  
 これらの市や町  
 と、人や物のい  
 ききで、深くむ  
 すびついでいま  
 す。



各務原市のまわりの市や町





みせのようす



のうやくをまく

## 二 市の人たちのしごと

前の学習では、各務原市の土地のようすを  
しらべてきましたが、ここでは、市にすんで  
いる人たちのしごとを、しらべましょう。

わたしたちの組の友だちの家では、どんな  
しごとをしている人が、多いでしょうか。

市全体では、どんなしごとについている人  
が多いでしょうか。

また、くらしをよくするために、市の人たち  
は、しごとのうえでどんなくふうをしている  
でしょうか。このようなことをくわしくしら  
べましょう。

### (1) しごとしらべ

#### 一 組の友だちの

#### 家の人のしごとしらべ

わたしたちは、市の人たちが  
どんなしごとをしているか、し  
らべることになりました。

はじめに、組の友だちの家の  
人のしごとをしらべて、グラフにかきました。

会社や工場につとめる人が、全体の半分いじょうになってお  
り、あとのしごとはどれもわずかです。

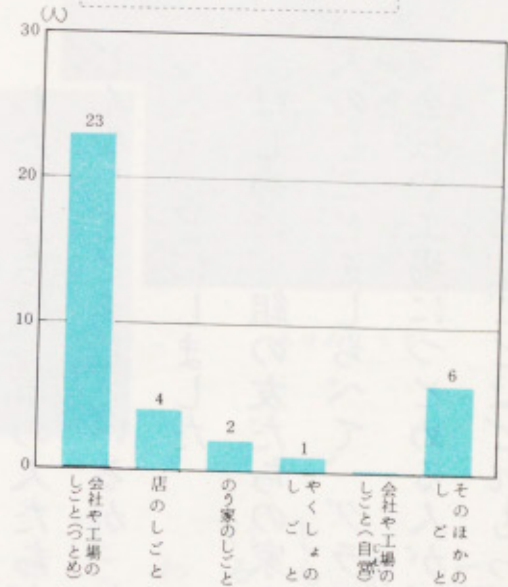
☆わたしたちの組の友だちの  
家の人は、どんなしごとを  
しているでしょう。

☆市の人たちは、どんなしご  
とをしているでしょう。

☆市の人たちのしごとは、土  
地のようすと、どんなつな  
がりがあるでしょう。



組の友だちの家の人のしごとしらべから、市全体ではどんなしごとが多いかよそうしてみましよう。



鶴沼第一小学校3年4組の家のしごとしらべ

みんなは、組の友だちの家の人のしごとしらべから、市全体のしごとはどうか、よそうを話しあいました。

「わたしたちの組と同じように市全体でも、会社や工場ではたらく人が多いと思います。」

「那加の町には、店があるので、市全体としては、店のしごとをする人も多くなると思います。」  
 「各務<sup>かかみ</sup>など、北のほうには、のう家のしごとをする人が多いのではないかと思います。」などの考えがでました。

市の人たちはどんなしごとでくらしをたてているでしょうか。グラフからよみてみましょう。

## 2 市の人たちのしごと

### 市全体のしごと

「組の友だちの家のグラフと市の人たちのグラフとをくらべて、おなじところを見つけてみましょう。」

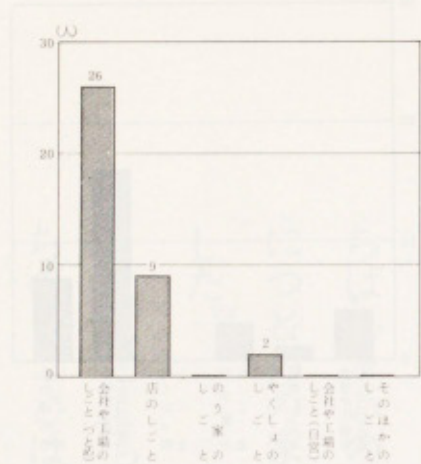
といって、先生が、

「市の人たちのしごとしらべ」のグラフを見せてくださいました。



わたしたちの組と同じように、市全体でも、いちばん多いのは、会社や工場のしごとでした。





那加第三小学校3年2組の家のしごとしらべ

はじめに、えちず絵地図を見て、どんな人がすんでいるか、よそをたてました。那加は、町になっているので、しょう店が多いだろうというのが、みんなのよそうでした。

しかし、いちばん多いのは、会社や工場ではたらく人でした。つぎに多いのが、しょう店でした。

「さいきんは、どこもつとめにいく人が多くなつてきています。しかし、しょう店の多いのは、よそうどおり那加です。」  
と先生が、教えてくださいました。

つぎは、稲羽東小学校の「しごとしらべ」のグラフを見ました。いちばん多いのは、じ

「まちめぐりでかんさつしたように、新しくじゅうたくがたくさんたつてきたのは、会社や工場につとめる人が多くなつてきたからです。」

と、みんなでまちめぐりをしたときのことを思いだして、この考えをたしかめました。

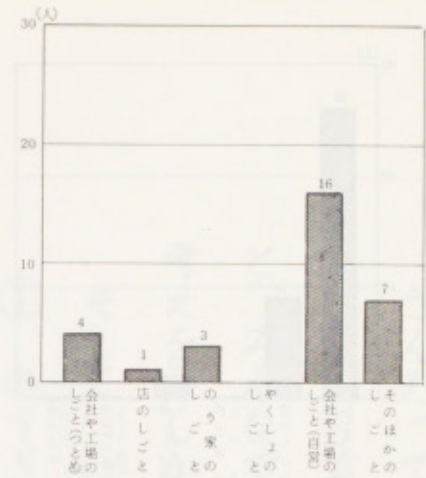
そして

- ① のうぎよのようす
- ② 工場こうじょうのようす
- ③ しょう店しょうてんのようす

などをしらべることになりました。

ところによってちがうしごと　はじめは　那加第三小学校の「しごとしらべ」のグラフを見ました。





稲羽東小学校3年1組の家のしごとしらべ

ぶんの家で会社や工場のしごとをしているところ  
です。

「なぜ、じぶんの家で会社や工場のしごとを  
しているところが多いのだろう。」みんなは、  
ふしぎに思って、前につくった絵地図を見な  
がら、いろいろ話しあいました。先生が、

「ここは、むかしからくわ畑はたけがあり、小さな

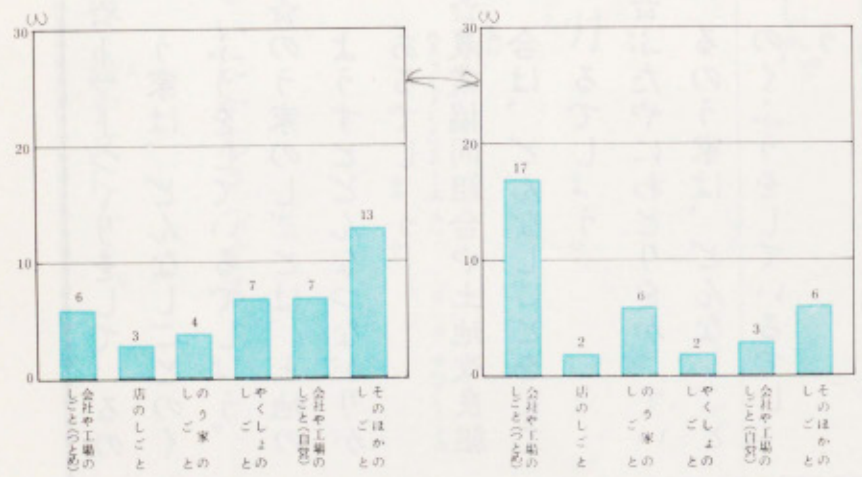
はたやさんが多いのです。」

と、教えてくださいました。  
稲羽西小学校の「しごとしらべ」でも同じようでしたが、稲  
羽東小学校ほどではありませんでした。

さいごに、各務小学校の「しごと  
しらべ」のグラフを見ました。

各務には、田畑が多いので、の  
う家が多いだろうというのが、み  
んなのよそうでした。しかし、い  
ちばん多いのは、那加と同じよう  
につとめの家で、つぎがのう家で  
した。

しごとしらべをして、市の人た  
ちのしごとは、場所ばしょによってちが  
うことがわかりました。



各務小学校3年1組の家のしごとしらべ 稲羽西小学校3年3組の家のしごとしらべ



(2) のう家のしごと

1 トマトづくり

市の人たちのしごとしらべで、各務は、ほかのところにくらべて、のう家が多いことがわかりました。

わたしたちは、のう家のしごとのなかでトマトづくりのようすを、くわしくしらべることになりました。

☆トマトづくりをしているの

う家は、どんなしごとのくふうをしているでしょう。

☆のう家のしごとは、土地のようすとどんなつながりがあるでしょう。

☆農業協同組合のうぎょうきょうごうあいや土地改良組とちかいりょうきんぐみ合あひは、どんなしごとをしているでしょう。

☆ぶたやにわとりをかってい  
るのう家は、どんなしご  
のくふうをしているでしょ  
う。

しらべる計画 のう家へ行って、なにをしらべるかみんなで話しあって、つぎのようにまとめました。

しらべること

- 1 トマトづくりがさかんになったわけ
- 2 トマトの送り先、送るほうほう
- 3 トマトのほかにつくっているもの
- 4 のう家のしごとのくふう

しらべかた

- 1 のう家のしごとのようすをじっさいにかんさつする。
- 2 のう家の人にきく。
- 3 かんさつしたこと、きいたことは、絵や文にかく。



トマトづくりのう家 各務のう家では、トマトのなえを畑はたけにうえかえています。

わたしたちは、トマトは、どのようにしてつくるのか、きいてみました。

のう家のおじさんは、手を休めて、トマトづくりのようすを話してくださいました。

「いまやっていることは、なえをうえかえるしごとです。このなえは、毎年、共同でそだてられたものをのう家がわけてもらうのです。なえをそだてるころは、寒いので土の中に電熱線でんねつせんをうずめて、あたたかくしな



共同でなえをつくる

ければなりません。」

そのほか、いろいろの話をききました。

○ひりょうをやるじきは、だいたいきまっている。

○トマトを竹などでささえてやらねばならぬものがある。これには、人手ひとでが多くかかる。

わたしたちは、学校にかえつて

から、トマトづくりのようすを、しごとごよみにまとめました。これによって、いろいろ人手のかかるしごとだということが

共同でしごとをする、めいめいの家はどんなことがたずかるでしょう。

トマトづくりのおもなしごとのようすを、しごとごよみにまとめましょう。



ささえをつかわない

ささえをつかう

トマトづくり





とり入れおわり  
 病虫害を防ぐ  
 かわきをふせぐ  
 とり入れ  
 ひりょうをあたる  
 病虫害を防ぐ  
 ひりょうをあたる  
 わきめをかく  
 さきえをたてる  
 なまのうえかえ  
 ひりょうをあたる  
 病虫害を防ぐ  
 なまのうえかえ  
 病虫害を防ぐ  
 たねまき  
 土入れ  
 土おしおしんぐ



トマトづくりのしごとごよみ

しでもお金がはいるように、どりよくしたのです。」  
 と、だれかが元気よく答えました。みんなは、それにさんせい

よくわかりました。

「どうしてトマトづくりが、さかんになったのでしょうか。」

と先生がもんだいをだされました。

わたしたちは、のう家のおじさんの話を思い出しました。

「むかしは、いもやむぎをつくって  
 いました。しかし、お金にならない  
 いので、トマトづくりをして、少

しました。

「トマトを売るねだんは、きまっています。それは、その年の  
 トマトのとれるあいだじゅう、ケチャップをつくる大きな工  
 場と売るねだんを約束してきめているからです。」

「各務のトマトづくりは、十年ほど前からおこなわれました。」  
 「トマトづくりをしている家は、あまりかわりなく、毎年八十  
 戸ぐらいです。けれども、畑は広くなってきました。」

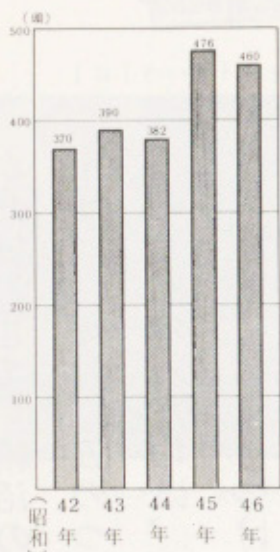
「トマトは、同じ畑につづけてつくれません。よく年は、ほか  
 の土地につくらないとよくそだたないのです。」

「これからは、さきえを使わないトマトづくりが、さかんにな  
 ってくるでしょう。また、水田にうねをつくり、トマトづく









多くなったぶたの数(大伊木)



ぶたをかう



ふんにょうをしまつする

ここでは、むかしからぶたをかうのう家がありました。ところが、昭和三十五年ごろから畑作はたきがあまりふるわなくなり、のう家ではしゅう入をふやすために、ぶたをたくさんかうようになりました。

一戸あたり十頭とちうから十三頭くらいです。それも、外国がいこくから買いいれた大型おおかたのぶたにかかりました。

この買いいれたぶたから、一年におよそ十五頭の子ぶたをうませ、四

のう家では、しゅう入をふやすために、どのようなくふうをしているでしょう。

池がたくさんあります。田のしごとのほかに、畑のしごとがたくさんあります。にんじんや白菜せきさいなどを、いろいろくふうして、さかんにつくっています。

このように、のう家では、しゅう入を少しでもふやすために、一年じゅう、いろいろとしごとのくふうをしていることがわかりました。

2 かちくをかう

鶉沼うねま(大伊木おおいき)ののう家では、ぶたをたくさんかっています。

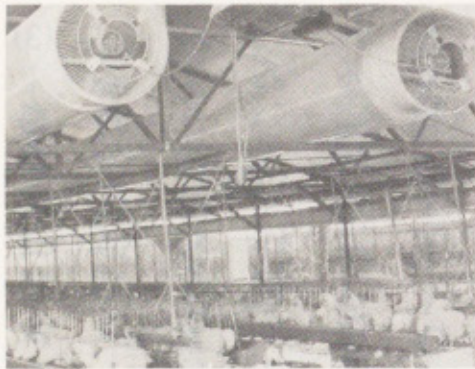


白菜をつくる



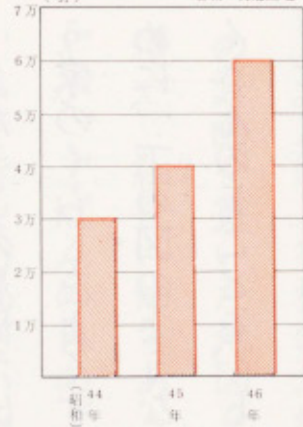


一日1かい↑トラックで送る



にわとりをそだてる

多くなったにわとりの数  
(羽) (各務の養鶏団地)



か月ほどして、鶉沼の子ぶた市場に、売りにだします。子ぶた市場は、毎月、五のつく日に開かれます。

のう家の人たちは、ぶたをそだてる時、病気にならないように、とくに気をつけます。いまは、家のまわりでかわれていますが、ふんによのしまつなどから考えて、しだいに家からはなれたところでそだてるようになっていきます。

しょうらいは、しゅう入を多くするため、大きくなるまで、そだてるようになるようです。

各務には、養鶏団地があります。ここでは、蘇原・稲羽・鶉沼の数けんのう家が共同で、にわとりをそだてています。むかし山林であったところをならして鶉舎をたてたのです。

生まれて四か月目のひなを買い、二か月たつと、卵をうみはじめます。午前に卵を集め、午後自動配飼車をつかってえさをあたえます。えさは愛知県はんたの半田市にある飼料工場から買います。

ここの人たちも、大伊木の、のう家の人たちと同じように、にわとりのせわをするときに、よごれた水を、しまつすることを、しんけんしんけんに考えています。

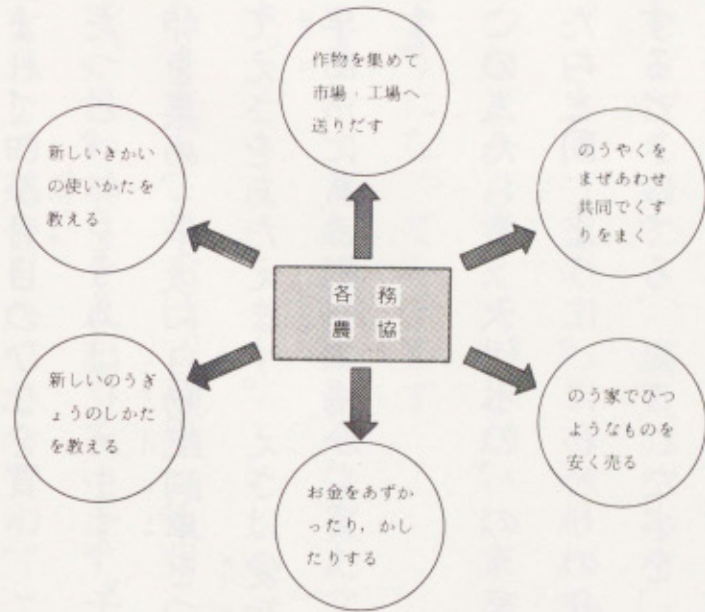


近くの農協の  
しごとをしら  
べ、表どくらへ  
ましよう。

### (3) 農業協同組合と 土地改良組合のしごと

各務の農協では、トマト  
づくりのせわをするほかに、  
いろいろな作物を、高く売  
れる市場へ送りだすしごと  
もしています。

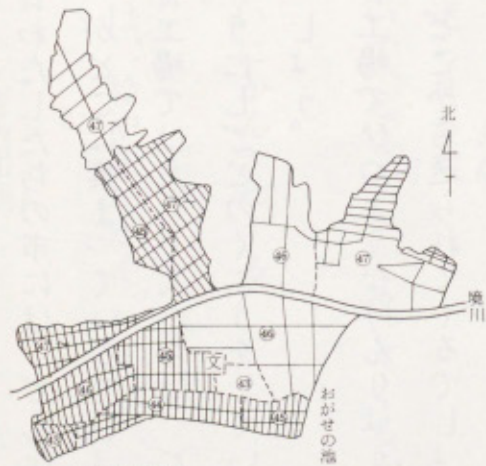
また、この農協では、の  
う家のくらしをよくするた  
めに、下の図のような、た  
くさんのしごとを、してい  
ます。



土地改良をし  
て、田畑の形  
をととのえる  
と、どんなこ  
とがよくなる  
でしょう。

つぎに、各務の土地改良組合で、話を聞きました。土地改良  
の計画を書いた地図を、見せてもらいました。まがりくねった  
道や、細長い畑であったところ、これから改良されるところな  
どが、ごぼんの目のように、きちんとかかれています。

いま行なわれている工事は、  
五年計画ですすめられています。  
工事ができあがると、田の形  
がととのい、まっすぐな道や、  
用水ろもつくられて、のう家の  
しごとが、たいへんしやすくな  
ります。



各務の土地改良 ○内は昭和何年 △はその後を示す  
各務土地改良組合資料による  
— 昭和46年 —



みんなで工場  
見学のめあて  
をきめ、見学  
の計画をたて  
ましょう。

### (3) 工場のしごと

#### 1 工場の集まって

いるところ

絵地図を見たり、じっさいにまちをかんさつしたりしてわかったように、わたしたちの市には、いろいろな工場があります。

工場見学の計画 二年生するとき、工場見学をしたことを思いだしながら、こんどは どんなどころに 気をつけて見学する

☆わたしたちの市には、どんな工場がどこに集まっているでしょう。  
☆工場ではたらく人たちは、どのようにしごとのくふうをしているでしょう。  
☆工場でひつようなげんりようは、どこから送られてくるでしょう。  
できた品物は、どこへ送られていくでしょう。

か話しあって、つぎのようにまとめました。

#### ① しらべること

- 工場では、何をつくっているか。
- 工場では、どんなげんりようを使っているか。
- 工場をつくったものは、どこへ送られるか。
- 工場ではたらく人は、何人ぐらいで、どこからかよってくるか。

#### ② しらべかた

- 工場のしごとのようすをじっさいにかんさつする。
- 工場ではたらいっている人に聞く。
- かんさつしたこと、きいたことは、絵や文にかく。

#### ③ しらべにいくところ

- 川崎工場
- はたおり工場
- 金属団地





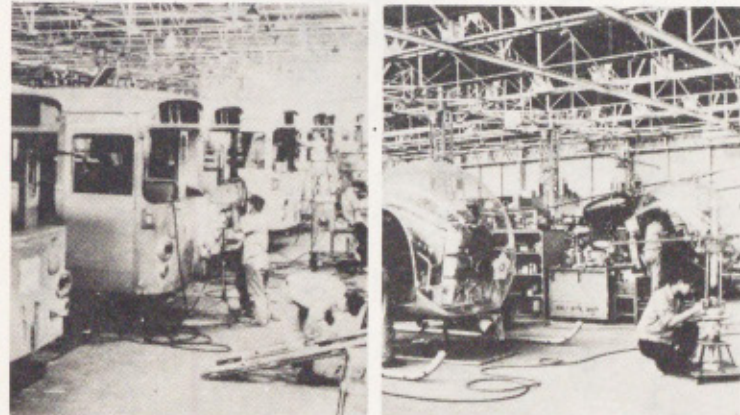
工場のあるところ

川崎工場 三柿野みかきのにある川崎重工かわさきじゅうこう岐阜工場を見学し、つぎのようになどめしました。

1 この工場では、バスをつくったり、飛行機ひこうきをつくったり、なおしたり、しています。

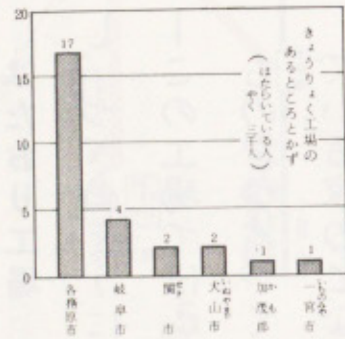
大きなバスは、一か月に二百台から二百五十台、マイクロバスは、百五十台から二百台つくられています。日本でいちばんたくさん、バスのつくられる工場です。

2 げんりげんりようは、鉄の板てつや棒ぼう、アルミ



バスの車体しゅうたいがつくられています。ヘリコプターをつくっています。

しらべた工場を地図や表になどめ、川崎工場とくらべてみましょう。



とりとりようなどで、山口県やまぐちや大阪おおさかなどから送られてきます。このほか、いろいろな部品ぶひんをたくさん使います。

3 つくられたものは、北は北海道ほっかいどう、南は九州きゅうしゅう、さらに遠く外国まで送られます。

4 バス工場ではたらいたらいにいる人は千人くらい。飛行機工場ではたらいたらいにいる人は、三千人くらいです。このうち、半分じ

ようが、市内と岐阜市からかよってきます。5 きょうりよく工場が二十七あり、バスや飛行機の部品ぶひんをつくっています。

6 工場からでるよごれた水を、きれいな水にして流すしせつがつくられています。



はたおり工場  
 はどんなよう  
 すでしよう。  
 はたらいてい  
 る人は、どこ  
 からくるでし  
 ょう。



工場のあるところ

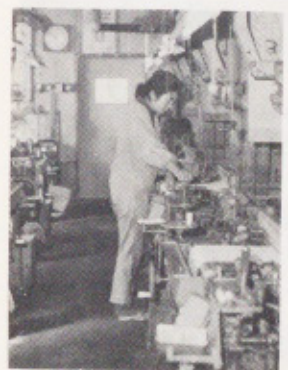
はたおり工場 稲羽の前渡西町にある田中さんの工場を見学

し、つぎのようにまとめました。

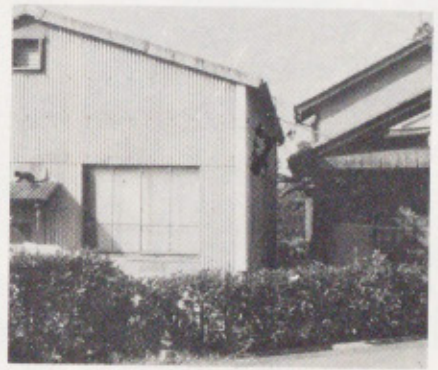
1 この工場では「駒りんず」というおりものをつくっています。工場は、すんでいる家のとなりにあり、十台ばかりの織機が音をたててうごいています。

2 げんりょうの生糸は、神戸から岐阜駅まで、鉄道で送られてきます。これを駅までとりにいき、それぞれのはたおり工場にくばります。

3 つくられたものほとんどは、仲買人

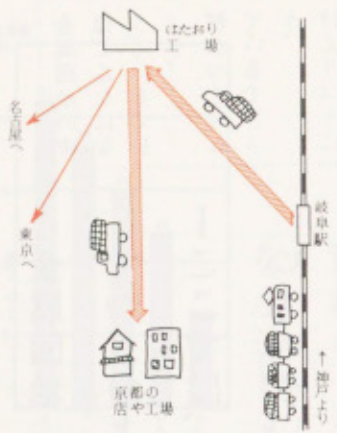


工場のなか



すんでいる家のとなりにある工場

げんりょうや  
 つくられたも  
 のは、どこか  
 らどこへはこ  
 ばれるか、ま  
 とめましょう。

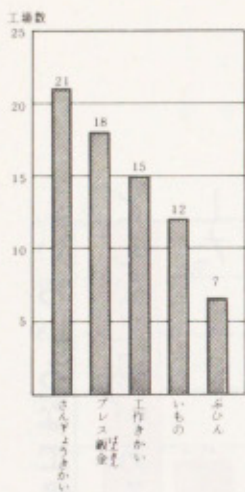


によって京都に送られます。一部は、名古屋や東京へ送りだ  
 されます。

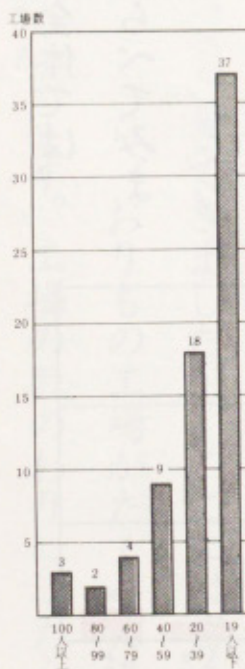
4 稲羽の町には、三百けんいじょうのはたやがあります。そのうちやく八割の工場は、家の人だけではたらいっています。このりのほとんどは、一、二名の女の人をきんじよからやとっています。なかには、遠く九州のほうから、はたらきにきている人もいます。

5 これからはたおり工場では、いままでどおり  
 の絹織物だけでなく、ウールなどをませた新  
 しいおりものを、くふうしていくそうです。





金属団地のせい品別の工場数  
(昭和45年4月現在)



金属団地のはたらいっている人数別の工場数  
(昭和45年4月現在)

金属団地のよ  
うすとほかの  
工場とちがう  
ところをまど  
めましょう。

3 団地の中には、アパートもつくられ、二百人くらいの人  
住んでいます。

4 この団地は昭和三十六年につくられ、金属団地としては日本  
のモデル団地になっています。団地のたくさん工場が、協  
同組合をつくり助け合っています。この団地の中には、みん  
なが楽しくはたらけるような福祉会館や体育館もあります。

三百人います。そのうちやく半部分が、岐阜市のほうからはた  
らきにきています。



金属団地の中  
はどんなにな  
っているでし  
ょう。  
何がつくられ  
ているでし  
ょう。  
げんりように  
ついてしらべ  
ましょう。

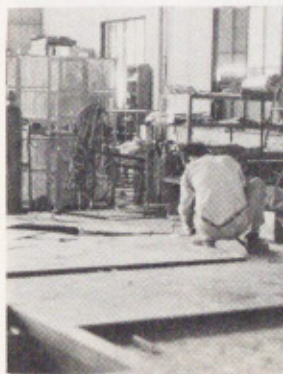
金属団地 那加にある団地のじむ所で話を聞き、工場を見学  
してつぎのようにまどめました。

1 ここでは、七十三の工場があつまり、  
いものやいろいろなきかいをつくって  
います。

2 げんりようは、県外の製鉄所から買い  
いれています。

3 つくったものは、全国各地に送りださ  
れますが、なかには外国へ送られるも  
のがあります。

4 団地ではたらいっている人は、やく二千



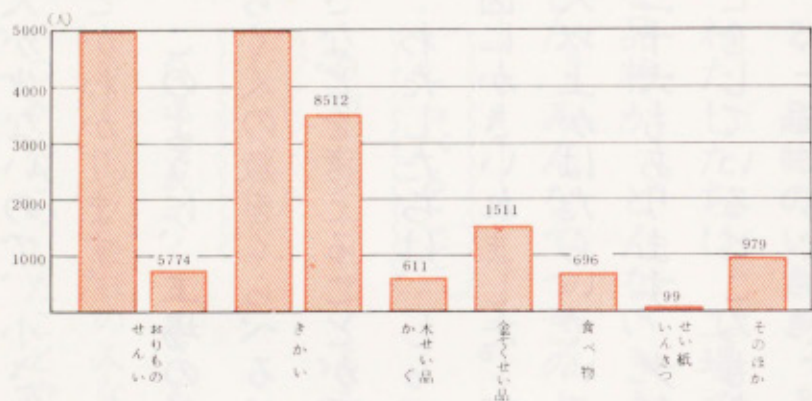
工場の中の様子



たくさんの工場が集まっている金属団地



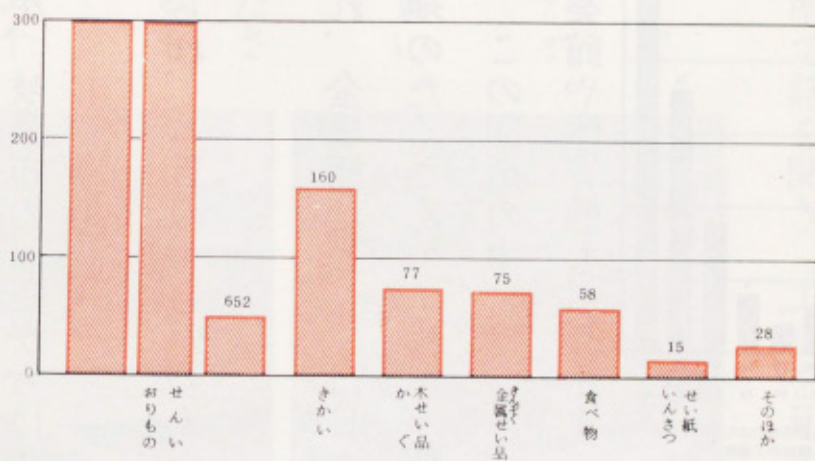
工場の数とは  
たらく人の数  
のグラフをく  
らべながら、  
工場の大きさ  
をくらべまし  
よう。



各務原市にある工場ではたらく人の数 (1971 市経済会工業現況)

いろいろな工場 市全体では、  
どんな工場があるかしらべてみま  
した。  
わたしたちは、みんなで作った  
絵地図をひろげて、どこに、ど  
んな工場があるかがしました。  
鶉沼の方には、おりものや糸を  
つくる工場、自動車の部品工場な  
ど、新しい工場がみられます。  
蘇原の南のほうには、飛行機、  
バスをつくる大工場を中心に、か  
んけいのあるいろいろな工場が集  
まっています。  
那加では、町のあちらこちらに  
町工場が見うけられます。そのほ  
か、金属団地があり、ここにはた  
くさんの工場が、集まっています。  
稲羽には、さいきん岐阜プラス  
チック工業などの大きな工場もで  
きてきましたが、ここには古くか  
ら、おりもの工場がたくさんあり  
ます。工場の数のわりにはたらく

いろいろな工場 市全体では、  
どんな工場があるかしらべてみま  
した。  
わたしたちは、みんなで作った  
絵地図をひろげて、どこに、ど  
んな工場があるかがしました。  
鶉沼の方には、おりものや糸を  
つくる工場、自動車の部品工場な  
ど、新しい工場がみられます。  
蘇原の南のほうには、飛行機、  
バスをつくる大工場を中心に、か  
んけいのあるいろいろな工場が集  
まっています。  
那加では、町のあちらこちらに  
町工場が見うけられます。そのほ  
か、金属団地があり、ここにはた  
くさんの工場が、集まっています。  
稲羽には、さいきん岐阜プラス  
チック工業などの大きな工場もで  
きてきましたが、ここには古くか  
ら、おりもの工場がたくさんあり  
ます。工場の数のわりにはたらく



各務原市にある工場の数 (1971 市経済会工業現況)



いままでしらべてきた工場を、地図や表にまとめましょう。

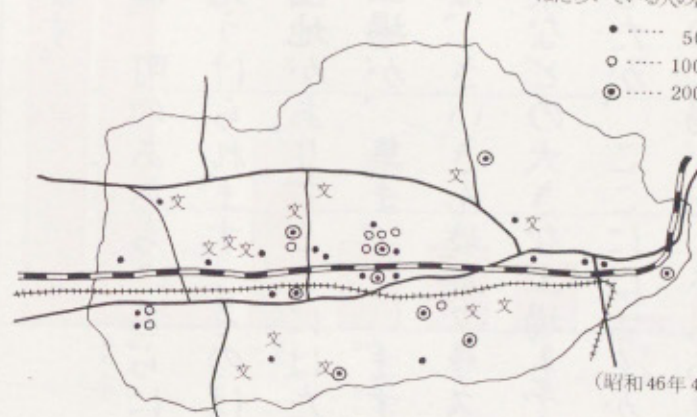
人が少ないので、小さな工場であることがわかります。

このように、工場の数と工場ではたらく人の数をくらべると、工場の大きさなどを考えることができます。

わたしたちは、しらべた工場を、地図にかきいれました。市内には、五十人以上がはたらいている大きな工場が、三十六もあります。少ない人数で仕事をしているところもあわせると、一千六十五にもなります。

はたらいている人の数

- ..... 50人いじょう
- ..... 100人いじょう
- ◎..... 200人いじょう



工場のある位置と工場の大きさ

## 2 品物のいきき

わたしたちは、工場でしらべたことをもとにして「いろいろな品物が、どんないききをしているか。」をしらべることにしました。みんなでつぎのような計画をたてました。

しらべること

○市に送られてくるものや、送りだすものには、何があるか。

しらべかた

○送られてくるところ、送りだすところを、じっさいに見学する。

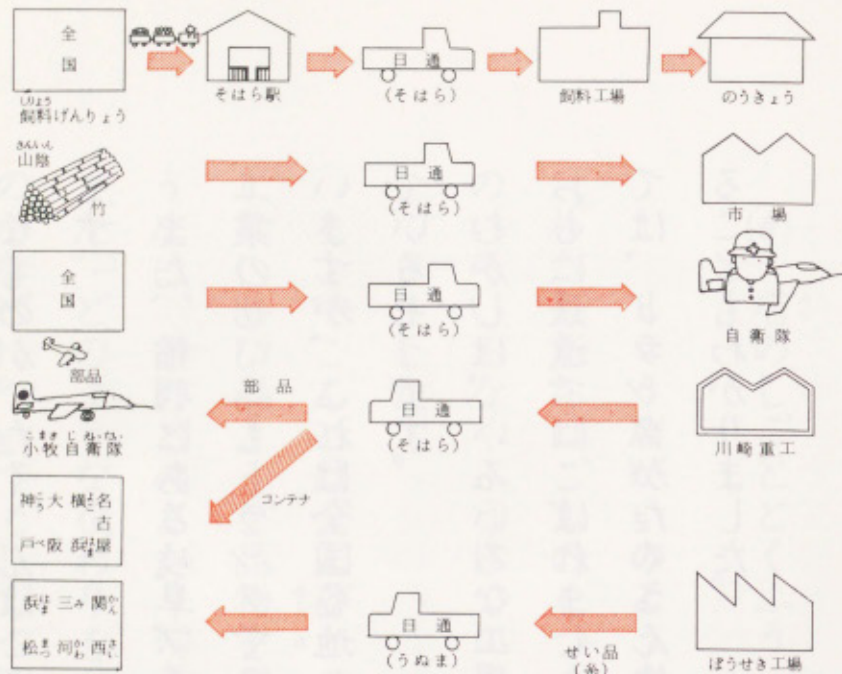
○トラック会社の人などに聞く。

○かんさつしたことや聞いたことは、絵や文にかく。

品物のいききのしらべかたを話しあい、しらべる計画をたてましょう。



送られてくるもの 送り出すもの



国を走っているトラックが、一日に一回まわってくることを話してくださいました。

「蘇原のえいぎょうしょは、工場にかんけいのある荷物のとりあつかいが、いちばん多くなっています。遠くまで荷物をはこぶトラックは、夜おそくではいりしていません。それは、夜のほうが走りやすいからです。」

「品物としては、上の絵のような

工場のできる品物や小荷物などのゆそうのようすをしらべて、まとめましょう。

しらべにいくところ

○日通のえいぎょうしょ

トラックゆそう わたしたちは、日通の那加えいぎょうしょにいきました。ちょうどそこに、蘇原のえいぎょうしょのしよ長さんもきてみえて、話をしてくださいました。

「那加では、小荷物あつかい、貨車へつむ貨物あつかい、小口あつかい、自動車便貨物あつかいなどをしていきます。」

それから、送りだす荷物より、送られてくる荷物のほうが多いことや、全



日通那加えいぎょうしょのようす



なものが、たくさんはこばれてきま  
す。」

また、稲羽にある岐阜プラスチック  
工業のせい品もトラックではこばれて  
いますが、これは全国各地へ送りだし  
ているそうです。

むかしは、いろいろな工場の品物は  
おもに鉄道ではこばれましたが、いま  
では、トラックがたくさん使われてい  
ることもわかりました。



岐阜プラスチック工業のせい品の送りだし

#### (4) 店のしごとくふう

一 しょう店がいのように

わたしたちは、ものをつくるとき  
のいろいろなくふうについて、勉強  
してきました。

そこでこんどは、人びとの毎日の  
くらしにひつような品物を売るしよ  
う店は、市のどのあたりにあるのか、  
また、どのような役わりをしている  
のかなどについて、しらべることになりました。

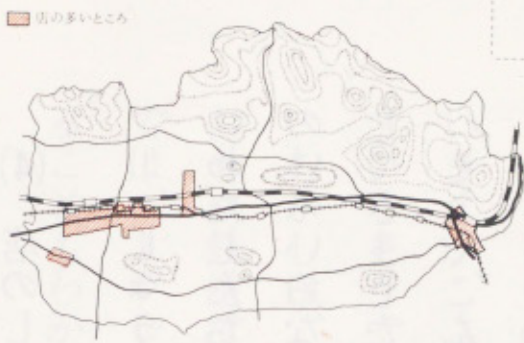
☆店は、どんなところに  
多く集まっているでし  
よう。

☆しょう店がいへは、ど  
こから人が集まってく  
るでしょう。

☆しょう店会では、品物  
がよく売れるように、  
どのようなくふうをし  
ているでしょう。



あなたの校下では店がどんなところに多く集まっているかしらべましょう。



店の多いところ

店の多いところ わたしたちは、前につくった市の絵地図に店の多いところをかきいれました。それを見ると、那加の国道二一号线ぞいや那加駅、新那加駅ふきん、蘇原の旭通り。新鷺沼駅ふきん、稲羽の成清町などに、店が多く集まっていることがわかりました。

わたしたちは、グループにわかれて、那加の中央通り、蘇原の旭通り、稲羽の成清町通りのあたりの店のようすについて、しらべることになりました。しらべる計画 わたしたちは、しらべかたや、かんさつのしかたなどについて話しあい

みんなで話しあつて見学のめあてをきめ、計画をたてましょう。

しょう店がいのにぎやかなわけをしらべましょう。

つぎのように、まとめました。

- 1 それぞれのしょう店がいのようす
- 2 それぞれのしょう店がいをりようする人たち
- 3 それぞれのしょう店がいのしごとのくふう

それぞれのしょう店がいのようす

◇那加の中央通りのしょう店がい◇（一子さんたちの発表）

中央通りは、国道二十一号線にそつたところす。町は、西那加町、東那加町、栄町、門前町一丁目とつづいています。この通りは、店のしゆるいも数もたいへん多く、買い物のおきやくが、たくさん集まります。

しょう店は、道の両側にならび、東西およそ一キロメートル



お客はどこか  
らくるか、店  
の人にきいて  
みましょう。

らおきやくが集まり、着る物を売る店は午  
後から、買い物をする人がふえるそうです。  
また、日曜の午後がいちばんにぎやかなこ  
ともわかりました。

このように、おおぜいの人買い物に  
るわけを、みんなで話しあいました。

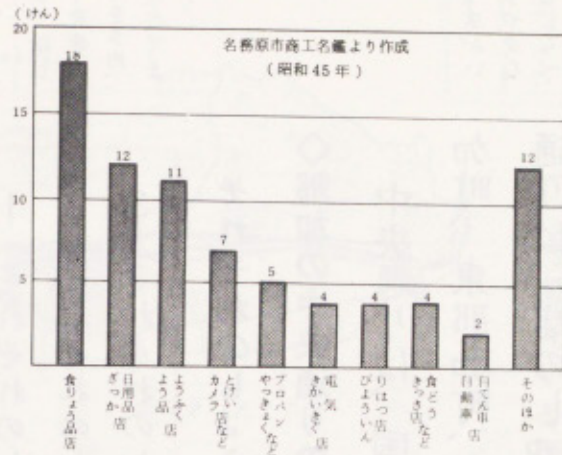
那加町にはこのほかに、食料品や日用品  
をたくさんならべて売る大きな店もありま  
す。このような店では、毎日使う物がま  
めて買えるので、おきやくでにぎわいます。



マーケットのようす



中央通りのしょう店のようす



中央通りのしょう店がいこの店のしゆるいと数

つづいていきます。

ここは、自動車のいききがはげしく、買い物するのに困るこ  
ともありました。いまでは、ガードレ  
ルがつけられたので安全に買い物ができ  
るようになりました。

このしょう店がいへは、那加の人たち  
が買い物に集まるだけでなく、稲羽町か  
らもたくさんきます。また、市の人たち  
だけでなく、まわりの町からも買い物に  
きます。

店の人に聞くと、食べ物店は午前中か





蘇原のしょう店がいの通り

この店の店がとくにいそがしいのは、夕方ゆがたの五時から七時ごろだそうです。このころは、工場では

のまわりからも買い物にきます。

また、ここは川崎の工場へつとめる人たちの通り道になっていますので、この人たちも買い物をします。

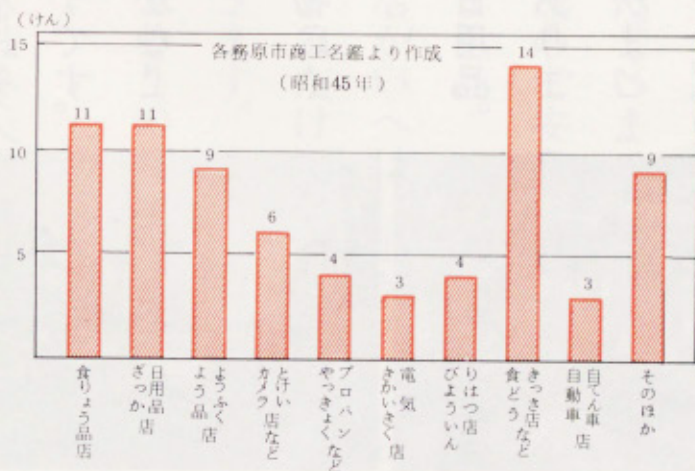
前に学んだしょう店がいとのちがいを考え、まどめましょう。

また、駅といっしょになっている大きな店では、電車を利用する人やちゅう車場をつかって買い物をする人でにぎわいます。

◇蘇原旭通りのしょう店がい◇

(二郎君たちの発表)

このしょう店は、名鉄六軒駅より南北に通っている道の両がわにあつて、六軒町、月丘町、早苗町、柿沢町一、二、三と店が続き、数百メートルにもなります。



蘇原旭通りのしょう店がいの店のしゅるいと数





成清のしょう店がいのようす

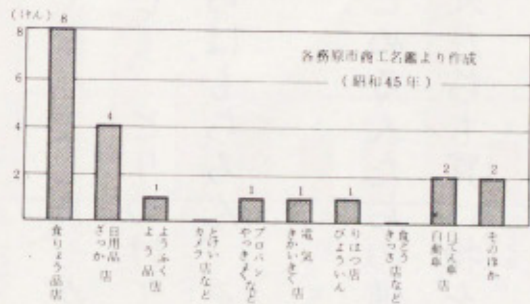
店をりようする人たちは、ほとんど近所の人たちで、よく知っている人ばかりです。店ではたらいっている人は、どこの店も家の人でした。いそがしいのは、店によってちがいますが、食りよう品店などは、夕方の四時すぎからとくに

前に学んだし  
よう店がいと  
のちがいを考  
え、まどめま  
しょう。

たらいっている人や、岐阜へつとめにいった人たちが帰るころなので、買い物をする人たちがふえます。旭通りは北からしだいに南へと、さいきんはつてんした町です。

◇稲羽の成清町のしょう店がい◇

成清町は、那加や蘇原よりも古くから店のあつたところでした。那加のほうに店がたくさんできるようになり、そのうえ、おりものがいぜんにくらべてふるわなくなつてから、店のしゆるいも数も少なくなりました。



成清のしょう店がいの店のしゆるいと数



近くのしょう  
店がいで、  
お客をふやす  
ために、どん  
なくふうをし  
ているかしら  
べましょう。

そがしくなります。たいていの店は、夜の九時ごろになるとし  
めます。

2 しょう店がいのくふう

わたしたちは、これまでに那加中央通り、蘇原旭通り、稲羽  
成清町のしょう店がいのようすについてしらべてきました。

三つのしょう店がいで、それぞれ店がきょうカして発展会  
をつくっています。

この発展会が中心になって、大売りだしやサービスする日を  
きめ、ときには、かざりつけなどもして、お客がたくさんくる  
ようにくふうしています。

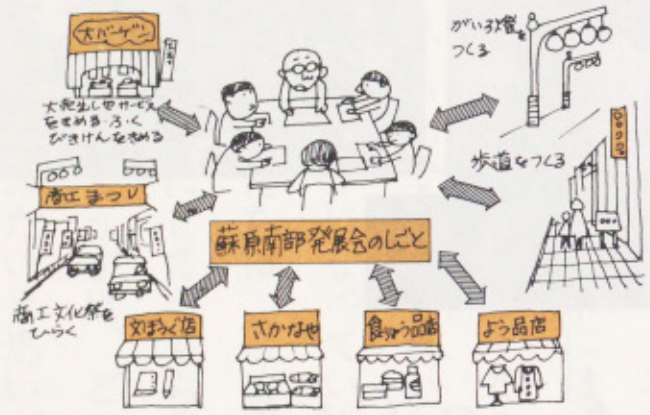
蘇原の旭通りでは、蘇原南部発展会をつくり、商工文化祭に

は、展示そく売会などをひらいてせんでんします。

那加の中央通りでは、チケットやカードをだしたり、あひる

きょうそうやしやうたいりよこうな  
ど、いろいろなせんでんがおこなわ  
れています。

また、市の商工会では、ちゅう車  
場をつくる計画や、お客がどこから  
どれくらいくるかをしらべたり、店  
のとくちやうをだすには、どうした  
らよいかなどのしどうや研究をして  
います。







### 三 けんこうで 安全なくらし

なみかは各務原市は、年々住む人がふえ、今では、八万人をこえました。

このように、大ぜいの人が、住むようになると、みんなのけんこうを守ったり、いろいろのさいがいをふせぐことが、とてもたいせつなしごとになります。

市では、人々のけんこうを守り、さいがいをふせぎ、くらしをよくするために、どのようなくふうをしているか、しらべてみましょう。そして、もっと住みよい市にするためには、どうしたらよいか、考えてみましょう。

#### (1) くらしをよくするくふう

##### 1 水道をひく

わたしたちの市には、市でつくった水道があり、どこの家でも、いつでも、きれいな水が、使えるようになっていきます。

わたしたちは、この水道が、

どのようなしてつくられたのか、水道ができる前とあとでは、くらしのようすは、どのようにかわったのか、といったことを、しらべてみたいと思い、つぎのような、けいかく計画をたてました。

☆くらしをよくするために、人々は、どのようなくふうをしているでしょう。

☆くらしをよくするためのしせつには、どんなものがありますか。また、しせつができてから、くらしは、どのようなにかわったでしょう。



水道がひかれる前の、じぶんの家のようすをしらべましょう。

水道ができる前 市に、はじめて水道がひかれたのは、昭和十九年ですが、この水道は、那加の町の一部が使えるだけのものでした。それから二十年あまりかかって、市全体に、きちんと、ととのえられました。

〔しらべる計画〕

○しらべること

1 水道がひかれる前の市のようにす

2 水道がひかれて、くらしはどのようにかわったか

○しらべかた

1 家の人や、前から市に住んでいる人に聞く。

2 市の水道じむ所の人に聞く。

水道がひかれる前は、ほとんどの家が、いど水を使っていました。そのいども鶴沼（三つ池・二十軒・羽場など）のほうでは、かんたんにほることができませんでした。

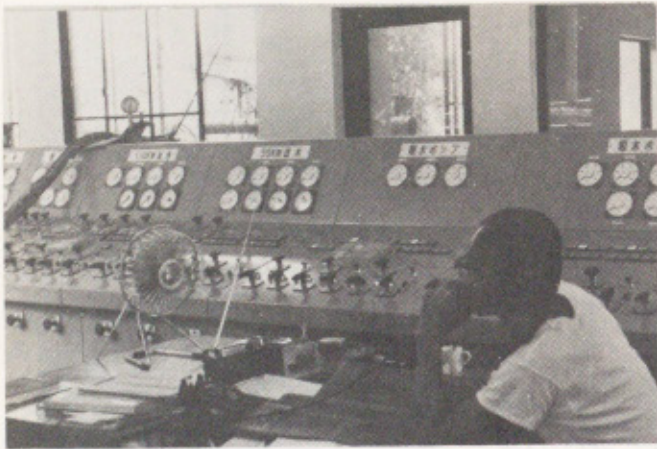
家を一けんたてるか、いどをほるか、といわれたほど、いどをほるのに、お金がかかったようです。

そんなにお金をかけて作りたいいどでも、くむのにてまがかかると、くんだ水を、ひしゃくで使うことが多く、水道のように、たくさんの水を使って、あらい流すということは、じゅうぶん



いど水を使っていたころのようす  
ポンプの前はつるべでくんでいた





「三井水げん」のなかのようす

町の人たちのねがいにはあつたけれどね。」  
それから、蘇原・稲羽・鶴沼と、水道をひく町がふえていき、

昭和三十八年、市でいちばん大きな、三井水  
げんができてあがり、市全体の家に、水道がひ  
かれました。

水道ができてから わたしたちは、水道じ  
む所のおじさんから聞いた話をもとに、水道  
ができてからの、くらしのかわりかたについ  
て、つぎのようにまとめました。

(1) いど水を使っていたところにくればると、  
水をくむてまがなくなり、とてもらくにな

じぶんの町、  
じぶんの家に  
水道がひかれ  
たのはいつか  
しらべましょ  
う。

できませんでした。  
このように、水もふべんなうえに、台所もきちんとしていな  
かつたために、時々でんせん病がでることがありました。  
水道をつくる 町の人たちが使う水道として、はじめにひか  
れた所は、那加の町（境川から西）でした。昭和十九年のこと  
です。この水道について、水道じむ所のおじさんが、つぎのよ  
うなことを、話してくれました。

「この水道をつくるころは、せんそうのさいちゅうだった。近  
くに川崎工場があるので、空しゅうにあつて、町をやかれる  
という心配があつた。だから防火用水としての水が、どうし  
てもほしかつた。もちろん、家で使える水道がほしいという、





新しくいどをほる（三井）

ところが、市の東の方では、水のくみあげすぎで、今までのいどが使えなくなってしまうという、心配ができました。そのため、市では、木曾川の水を、水道に使うという計画をたてています。どんな計画か、くわしくしらべてみましょう。

新しい計画 市に住む人たちが、どんどんふえていくために、水もたくさん使うようになり、今までの水道では、たりなくなってきました。

そこで、三井の水げんでは、新しく四つのいどをほり、たくさんのお水を送れるように、せつびもとのえました。

- った。
- (2) きれいな水が、じゅうぶん使えるようになったため、でんせん病なども、少なくなった。
  - (3) 水道だけのりゆうではないが、台所やふろ場などを、りっぱにとのえる家がふえてきた。
  - (4) しょうかせんをたくさんつけることができ、火事をふせぐのに、べんりになった。
  - (5) プールができ、きれいな水の中で、泳げるようになった。



せいけつではたらきやすくなった台所



## 2 市をきれいに

前の勉強では、水道がひかれたために、とてもえいせいになってきになり、台所のしごとも、べんりになったことを知りました。

このように、せいけつで住みよい市にするために、いろいろのしごとをしていますが、そのひとつに、ごみ集めがあります。

そこで、わたしたちは、ごみ集めをするようになってから、くらしのようすが、どのようにかわったか、しらべることになりました。

○しらべること

1 ごみ集めが、行なわれる前のようす

2 ごみ集めが、行なわれるようになってからのようす

○しらべかた

1 家やふきんの家の人に聞く。

2 市のえいせいかの人に聞く。

ごみ集めが行なわれる前 わたし

たちの市で、ごみ集めをはじめたのは、昭和三十二年ですが、はじめは、那加でも、家がたくさん集まっていた所だけでした。

これらの町にも、ごみ集めの自動車がこなかった十五年くらい前は、どの家も、ごみのすて場にこまり、あなをほってうめたり、土手や川にすてたのだそうです。

今でも、川の近くなどに、「ごみをすてないでください」と書いてたてたふだが、立っている所がありますが、そうした所へで



たてふだがあっても、すててあるごみ





オルゴールをならしてくる ゴミ集めの自動車

も、へいきですることがよくありました。そのため、はえがわいたり、いやなおいがしたりして、ふきんの人たちは、とてもこまったということでした。

ゴミ集めの自動車 このようなことが、あちこちにあると、ふきんの人が、こまるばかりでなく、でんせん病が、はっせいする心配があります。そんなことから、町の人たちは、ごみのしまつをきちんとして、せいけつな町にしたいと、ねがっていました。

このような人たちのねがいや、人がたくさん住んでいるところは、ごみなどを集めて、

せいけつな町にしなければならぬという、国のきまりなどから、昭和三十四年に那加、二年後に蘇原に、ごみやき場ができ、ごみ集めの自動車が、町を走るようになりました。

それから、どんどんごみ集めをする町がふえ、今では、オルゴールをならしてくる自動車（バックマスター車）四台、そのほか四台の車が、一万五千軒の家のごみを、集めにまわっています。

ごみを集めにくる人は、市がたのんでいる二つの会社の人たちです。

新しいごみやき場 はじめにつくった、那加や蘇原のごみやき場は、小さくて、せつびも悪かったので、ごみを出す家が、

じぶんの町では、どのようにごみ集めをしているか、しらべましょう。





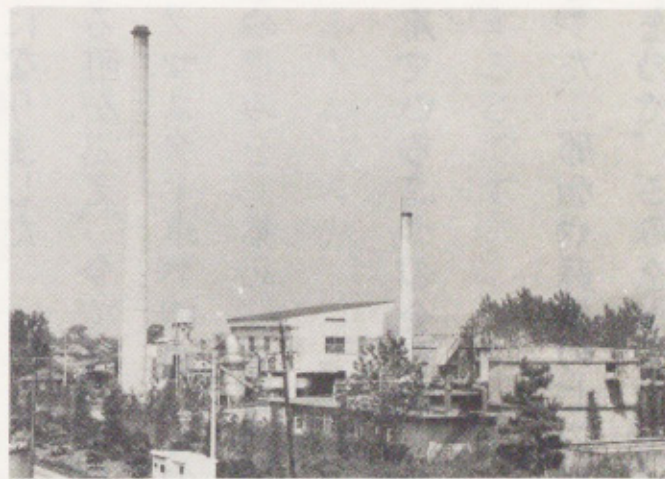
ゴミを入れておくポリバケツ

なにおいもしないので、よく使われるようになりまし  
水道や、ゴミ集めのほかに、せいけつで、けんこうな  
住みよい市にするために、人々は、どんなねがいもち、  
市では、どんなことをしているか、しらべてみましょ  
う。

ゴミ集めをべんりにする はじめのころのゴミ入れは、黒く  
ぬった木のはこでした。木のはこは、水けのあるゴミが多いた  
めに、こわれやすく、自動車につむにも、ふべんでした。それ  
が、コンクリートのはこに変わりましたが、今では、ポリバケ  
ツとか、ポリボックスというふくろが多くなりました。

ポリボックスは、ふくろごと自動車につむことができ、いや

ふえるにつれて、しまつしきれな  
くなくなりました。  
そこで市では、もっと大きく、  
せつびのととのつたゴミやき場を  
つくろうと計画し、昭和四十四年  
に、稲羽にある、えいせいセンタ  
ーの中に、たてました。  
できあがった新しいゴミやき場  
は、一日に四〇トン（パツクマス  
ター車二十台ぶん）はやける、せつびをそなえ、毎日、市内か  
ら集めたゴミを、もやしつづけています。



えいせいセンター(稲羽大佐野町)にあるゴミやき場



けいさつ しよ	しょうぼうしよ	
火事 のとき するしごと	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. きよ年おきた火事の教とそのげんいん</li> <li>2. 火事の多い月とそのわけ</li> <li>3. 火事をふせぐしせつやどうぐ</li> <li>4. 火事をふせぐためにしているしごと</li> <li>5. しょうぼうだんのしくみとしごと</li> </ol>	しらべること

わたしたちの市には、火事をふせぐために、どんなしくみがあるか、また、どのようなふうをしているか、それは、どこでしらべたらよいかを話しあい、上のようにきめました。これらの問題を手わけしてしらべることにし、はじめに、

(2) さいがいをふせぐ

1 火事をふせぐ

きよ年の十一月、わたしの家の近くで、火事がありました。火事を見つけたおとうさんが、すぐ一一九番に電話をかけたら、五分くらいで、市のしょうぼう自動車がかけてきました。そのほか、しょうぼうだんの自動車も、何台かきて、火事をけしてくれました。また、けいさつしよの人たちもきて、交通せoiriなどをしていました。

☆市では、火事や交通じこをふせぐために、どのようなことをしているでしょう。

☆市の人たちは、火事や交通じこをふせぐために、どのようななきょう力をしているでしょう。





冬から春にかけて、火事が多いわけを考  
えましよう。

3 つが悪いことから、よくおきていることがわかる。  
三月が、いちばん多く、八月、九月が少なかつた。  
火事をふせぐしくみ 市には、那加(西)と鶴沼(東)に、

西しょうぼうしよ

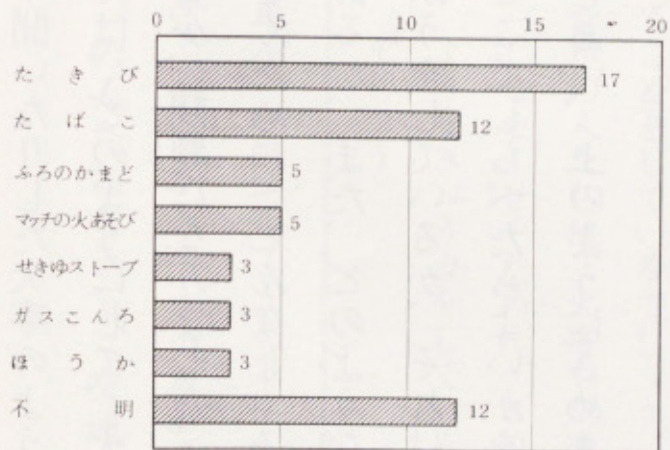
	西	東
しょうぼう自動車	4	2
きゆうきゆう車	1	1
しれい車(むせん車)	1	1
しょうぼうし	24	20

しょうぼうしよがあり、六台のしょうぼう自動車があります。これらの自動車は、火事の知らせがあれば、すぐ出かけられるように、いつでもじゅんびがととのえられています。

「火事は、さいしよの五分間。」  
といわれています。だから、しょうぼうしよの人たちは、一び

しょうぼうしよへ行くことにしました。  
市でおきた火事とそのげんいん しょうぼうしよのおじさんは、はじめに、きよ年一年間におきた火事の数と、そのげんいんについて、話してくださいました。その話から、つぎのようなことがわかりました。

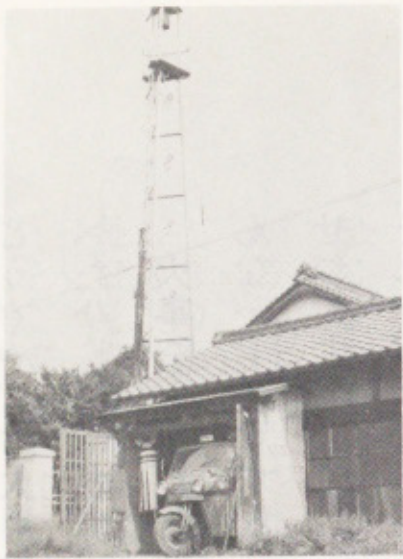
1 市でおきたきよ年一年間の火事は、七十三けんだつた。  
2 おもなげんいんは、下のグラフのとおりだが、火のあとしま



火事のげんいん (昭和45年度各務原しょうぼうしよ)

市でおきた火事とそのげんいん しょうぼうしよのおじさんは、





しょうぼうきぐこ (那加長塚町)

火用の池などを見まわって、いつでも使えるかどうかたしかめたり、人の集まるえいがかん、りよかんなどをしらべて、火事をおこさないように、注意したりします。

しょうぼうだんのしごと 市のしょうぼうだんは、八つにわかれており、六百人のだんいんがいます。

しょうぼうだんの人たちは、いつもは、つとめとか、のうぎょうなど、じぶんの家のしごとをしています。火事があると、そのしごとをやめて、すぐ火事場へかけつけます。

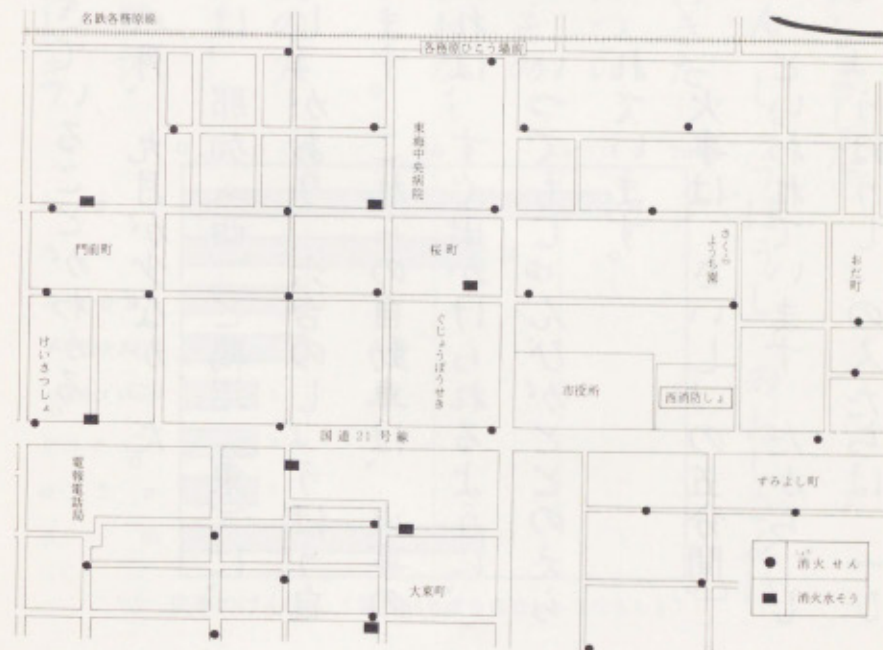
また、ときどきくんれんをうけたり、

家の近くに、消火せんや、防火用水の池があるか、しらべましょう。

ようでも早くかけつけ、火をけすことができるように、きびしいくんれんを、うけています。

火事は、いつおきるかわからないので、夜もつとめなければなりません。そのため、一日こうたいで、毎日十人ぐらいが、つとめに出ています。

このような、火事をけすしごとのほかに、消火せんや、防



火事をふせぐしせつのようす (那加・市役所ふきん)



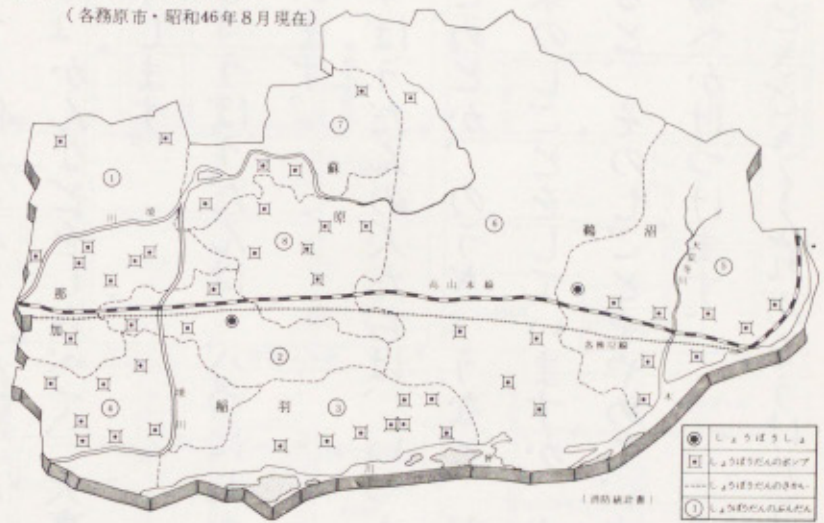
火事をふせぐ  
ために、わた  
したちででき  
るきょうかに  
ついて、考え  
てみましょう。

どうぐや、防火用の池をしらべたりしています。

火事をふせぐためには、みんなが、注意することがたいせつですが、火事がおきても、それが、大火事にならないようなくふうをすることも、たいせつです。

市では、火事をふせぐためにどんな計画をたてているか、しらべてみましょう。

しょうぼうポンプのあるところ  
(各務原市・昭和46年8月現在)



## 2 交通じこをふせぐ

このあいだ、わたしの家の近くで、交通じこがありました。

自転車の人が、急にとび出して、自動車にはねとばされたのです。きゆう急車で運ばれたその人は、なおるまでに、三か月ぐらいもかかる大けがだったそうです。

このようなじこが、ますます多くなって、新聞やテレビは、毎日そのようすをつたえています。そこでわたしたちは、市では、どのくらいじこがおきている

- 1 しらべること  
市でおきた交通じこの数
- 2 じこのげんいん
- 3 じこをふせぐために、していること
- 4 じこをふせぐための人々のきょうりよく